「2020年度学校健診後治療調査」の調査結果について

当協会は山梨県の開業保険医を中心とする医師・歯科医師 約 400 人(医科約 300 名、歯科 100 名)で構成する団体です。

学校において、医師歯科医師が行う「健診」について、児童・生徒の健康状態と健診で要受診となった際の受診の有無、未受診の理由などを調査しました。

山梨県版「2020 年学校健診後治療調査」は、 山梨県内の 公立、私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に2021 年 2 月 10 日~ 3 月 31 日にかけて行った。調査票を 302 校へ送付し、65 校(回収率 20.8 %)から回答がありました。

全国版は、31 都道府県(北海道、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、山梨県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、佐賀県、大分県、宮崎県、沖縄県)の各学校4,923 校(回収率20.7%)よりご回答頂きました。

今回の調査結果から、「新型コロナウイルス感染症拡大」によって、全国の児童・生徒の健康状態に大きな影響を及ぼしていることが明らかになりました。

今回の調査では前回 2019 年調査と比較して、"受診できない"児童・生徒たちの未受診割合は増加していました。また、児童・生徒達の未受診の背景については、各学校から「受診による新型コロナ感染」を恐れて引き起こされたとの指摘が多く寄せられました。

新型コロナウイルス感染症拡大による児童・生徒への影響は広範囲にわたりました。歯科では、全体的に口腔内の状況が悪化し、虫歯のみでなく歯垢の付着や歯肉炎が増加しました。「コロナ感染が不安」であることを理由にした学校健診の受診控えも多く発生していました。

未受診の背景として、従来より「健康状態に対する親の理解不足」「共働き」「経済的困難」「ひとり親家庭」「無関心」など、健診後の受診につながらない児童・生徒は家庭に何らかの問題を抱えていることは明らかです。これに、今回、新型コロナウイルス感染症拡大による「受診控え」が加わり、児童・生徒を取り巻く健康状況が悪化していることが分かりました。

児童・生徒の健全な成長・発達を保障する上で、必要な受診を促すことを目的として、国・自治体・ 学校・医療関係者・地域が連携した積極的な対応が求められます。そのためにも、調査結果はマスコミ 発表を行うとともに、衆参の文部科学委員へ送付を行い、国会質疑で取り上げていただくよう依頼する など、本調査結果を活用し、児童・生徒の未受診を減らすための取り組みを行います。

【この件についての連絡先】

山梨県保険医協会

事務局長 伊藤龍吾

e-mail ryogo@yamanashi-hk.jp

TEL 0.5.5 - 2.2.7 - 5.4.3.4

FAX 0 5 5 - 2 2 7 - 5 4 3 5

山梨県版

新型コロナウイルス感染拡大後の健康状況

「2020年学校健診後治療調査」より

2021年7月28日山梨県保険医協会

■「新型コロナウイルス感染拡大」によって"受診ができない"児童・生徒たちがいる

2020 年に日本全国で感染が拡大した新型コロナウイルス。新型コロナウイルスは、全国で実施されている学校健診にも大きな影を落とした。新型コロナ感染拡大に伴う2020年3月4月の全国一斉休校を受け、学校健診は延期され、その後も健診実施に至るまでに時間を要した。加えて、「受診による新型コロナ感染」を恐れて、要受診とされているにも関わらず必要な受診ができていないことが明らかとなった。

■"受診できない"児童・生徒たちは増加している

全国保険医団体連合会は、学校健診で、「医療機関への受診が必要とされたにもかかわらず、受診できていない子どもたちがいる」ことを 2019 年に実施した「全国学校健診後治療調査」で明らかにした。その翌年、新型コロナウイルスの急拡大が起こった結果、前回調査に比べて、要受診とされた子どもたちの未受診率は、調査対象の歯科、眼科、耳鼻科、内科の全科において増加した。

山梨県での未受診の割合は、歯科健診は 60.3%(前回 54%)、眼科健診は 59.5%(前回 54.4%)、視力検査は 58.1%(前回 59.0%)、耳鼻科健診は 57.4%(前回 39.1%)、聴力検査 35.5%(前回 52.6%)内科健診 57.6%(前回 51.0%)となり、未受診の児童・生徒数は増加している。

■新型コロナウイルスによる広範囲にわたる影響事例が寄せられる

新型コロナウイルスによる影響については、42.4%の学校が「影響があった」と回答した。影響事例は、「肥満児童・生徒の増加」、「視力低下」、「保健室登校の増加」「虫歯のある児童・生徒の増加」など多数報告された。また、不登校や健康相談の増加、摂食障害や神経性食欲不振症、長期休業により生活リズムが乱れ、精神疾患にり患したなど声が養護教員から寄せられている。歯科では、全体的に口腔内衛生状態の悪化が指摘されている。「コロナ感染が不安」であることを理由にした受診控えも多く発生していたとの報告が寄せられた。

■コロナ禍の今こそ、国・自治体・地域での積極的な対策を

未受診の背景として「健康状態に対する親の理解不足」「共働き」「経済的困難」「ひとり親家庭」「無関心」などがあり、 健診後の受診につながらない児童・生徒は家庭に何らかの問題を抱えていることは、前回の学校健診後治療調査で明らかにした。前述の状況が改善されない中で、今回、新型コロナウイルス感染拡大による「受診控え」が加わり、児童・生徒を取り巻く健康状況が悪化していることが分かった。児童・生徒の健全な成長・発達を保障する上で、必要な受診を 促すことを目的として、国・自治体・学校・医療関係者・地域が連携した積極的な対応が求められる。

2020 年度 学校健診後治療調査の要受診率・未受診率

	2020 年	調査	2019 年調査			
	要受診率	未受診率	要受診率	未受診率		
歯科	27.8%	60.3%	29.7%	54.0%		
眼科	5.2%	59.5%	8.8%	54.4%		
視力検査	33.1%	58.1%	34.0%	59.0%		
耳鼻科	10.1%	57.4%	12.8%	39.1%		
聴力検査	1.3%	35.5%	0.5%	52.6%		
内科	3.3%	57.6%	3.6%	51.0%		

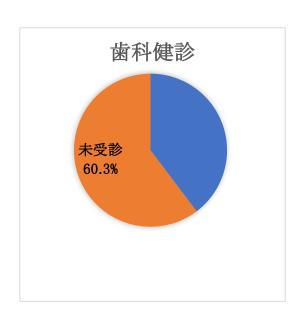
^{※「2020} 年学校健診後治療調査」は、山梨県内の公立、私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に 2021 年 2 月 10 日~3 月 31 日にかけて行った。調査票を 302 校へ送付し、65 校(回収率 20.8%)から回答があった。

歯科

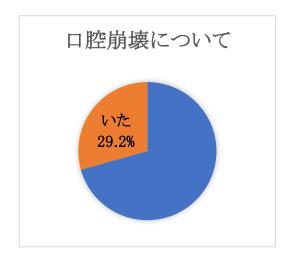
歯科健診を受けた児童・生徒のうち、27.8%(前回は29.7%)が要受診と診断されたが、要受診と診断された児童・生 徒の62.3%(前回は54.0%)が「未受診」だった。

新型コロナ感染拡大によって、「感染の恐れ」を理由にした歯科の未受診者の増加が原因で、前回調査時の未受診 割合を上回っているケースがある。

口腔崩壊(むし歯が10本以上、歯の根っこしかない未処置歯があるなど咀嚼が困難な状態)の児童・生徒たちの有無については、「いた」と回答した学校が、29.2%となった。口腔崩壊に陥っている児童・生徒数は40人(約0.26%)との結果となった。むし歯のある児童・生徒数は、歯磨き習慣やフッ素塗布などにより近年減少しているが、極端にむし歯が多く、口腔内が放置されている児童・生徒は存在している。事例では、「乳歯7本、永久歯4本で計11本のむし歯の児童がいました」(小学校)、「虫歯が10本以上ある女子がほとんどです」(中学校)、「虫歯が10本未満だが、歯科校医より、治療跡がないなどを指摘された生徒が2名いました」(中学校)



歯科健認	人数	
受診	39.7%	1,683
未受診	60.3%	2,558
要受診	27.8%	4,241
歯科健認	15,279	



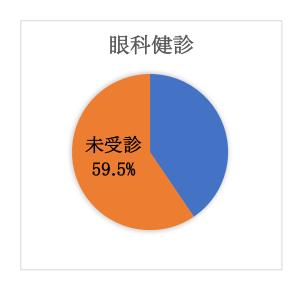
□腔崩壊の害	学校数	
いなかった	46	
いた	29.2%	19
回答総数		65

眼科

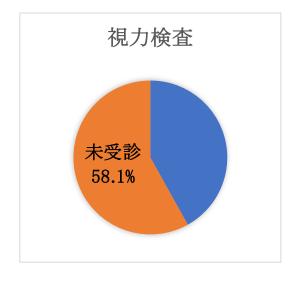
眼科健診(視力検査をのぞく)をうけた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は、59.5%(前回 54.4%)、視力検査の場合は、58.1%(前回 59.0%)となり、視力検査のぞいた眼科健診は 2019 年調査より未受診率は上昇した。

眼科への受診については、「両親共に海外の方で、受診を拒否。メガネも作らずそのまま生活。視力両眼 C」(小学校)、「医師からも視力低下の指摘があり、学校から保護者へ話をしたが保護者が受診を拒否した。保護者の不理解」(小学校)、「眼科を受診せずに、メガネっショップでメガネを調整している生徒が少なくない。アレルギー性結膜炎の受診率が低い」(中学校)など、受診しないケースがあった。眼科を受診しても、「受診してメガネの処方箋を出してもらったけれど、メガネを作っていない」(小学校)。眼鏡を処方されていても「視力低下のため眼鏡が処方されているのに使用しない。検査するときは眼鏡使用するので受診はすすめないが、授業中困らないのか?」(小学校)であった。

また、眼鏡を購入するための経済的な負担が問題となっている事例も寄せられている。コンタクトの購入が 困難(経済的)、メガネの修理ができない(経済的)などである。



眼科健診割合	人数					
受診	40.5%	283				
未受診	59.5%	415				
要受診	5.2%	698				
眼科健診人数	眼科健診人数					

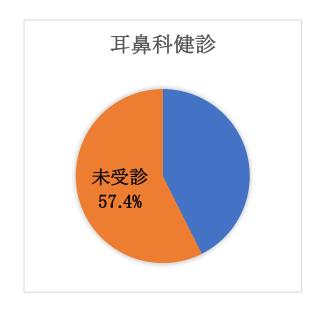


視力検査割合	人数	
受診	41.9%	2,083
未受診	58.1%	2,888
要受診	33.1%	4,971
視力検査人数		15,005

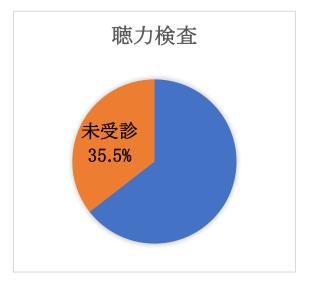
耳鼻科

耳鼻科健診(聴力検査を除く)を受けた児童・生徒のうち要受診と診断されたにもかかわらず、未受診だった子どもの割合は、57.4%(前回39.1%)となり、大幅に上昇している。一方、聴力検査は35.5%(前回52.6%)となり、大幅に減少した

養護教員からは、「耳鼻科の受診については他科より受診率が低くなっている」(小学校)、「受診に対する拒否感が強い、過敏などがあり、日常的な耳掃除ができないなど耳鼻科に関する対応はハードルが高い」(特別支援校)などの報告が寄せられた。



耳鼻科健診割合	人数	
受診	42.6%	501
未受診	57.4%	675
要受診	1,176	
耳鼻科健診人数	11,613	



聴力検査割合	人数	
受診	64.5%	98
未受診	35.5%	54
要受診	1.3%	152
聴力検査人数		11,655

内科関連

内科診断を受けた児童・生徒のうち要受診と診断されたにもかかわらず、未受診だった児童・生徒の割合は、57.6%(前回51.0%)となり、未受診率は上昇した。

内科関連の具体的困難事例は、回答した62校の中から8校(12.9%)が「いた」と回答した。

「肥満児童・生徒の増加」「不登校児・生徒の増加」、「心の問題」、「アトピー性皮膚炎疑い」などであった。

内科関連についての事例に関して、養護教員から「新型コロナ感染症での休業期間の影響もあるのか、不透明な部分も多いが、複数の原因があり、児童が学校に来られない。受診勧告するものの家庭でのアクションはない」(小学校)、「ゲーム依存・親の育児放棄などで、小児科・精神科への受診の理解ができない 尿糖 (++) でも親が受診しないケース」(中学校)、「不登校生徒の未検診者の増加」(中学校)、「肥満の生徒が受診しても、その後継続受診がされていない」(中学校)、「摂食障害による体重減少」(中学校)、が報告された。



内科健診割合	人数	
受診	42.4%	213
未受診	57.6%	289
要受診	3.3%	502
内科健診人数		15,131

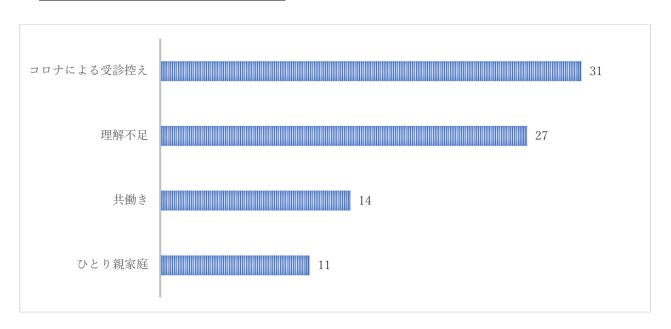
未受診について

未受診の理由について、養護教諭に尋ねたところ、一番多かったのは「新型コロナ感染による受診控え」、2 番目が「健康への理解不足」、3番目が「共働き」、4番目が「無関心」と続いた。

未受診の児童・生徒は、家庭環境に何らかの問題を抱えていることは明らかであるが、今回の調査では、 新型コロナウイルスの感染拡大という要素が加わり、理由の1番となり、医療が必要な児童・生徒が十分な受 診をできず健康状況が悪化している報告が寄せられた。

未受診についての自由記載欄では、「受診しているが学校への申告のし忘れがある」、「部活や習い事が忙しい」、「保護者が外国人」、「育児放棄」、「生徒自身も健康への関心が低い」などの報告にみられるように、未受診の要因は多岐にわたる。

コロナによる受診控え	31
理解不足	27
共働き	14
ひとり親家庭	11



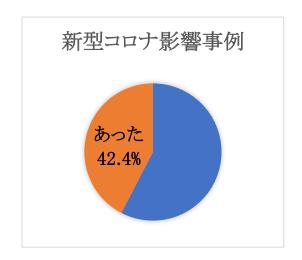
新型コロナ影響事例

新型コロナによる影響事例の有無については、42.4%の各学校が「影響があった」と回答した。 新型コロナによる影響事例では、一番多かったのは「肥満児童・生徒の増加」、二番目が「むし歯のある児童・生徒の増加」・「保健室登校児・生徒の増加」、三番目が「視力低下児・生徒の増加」だった。

自由意見欄からは、「不登校や登校しぶり」が全国で増加していることがわかった。また、学校の長期休校の影響で生活リズムが乱れ、精神疾患に罹患したケースがあった。心身における体調不良や心の病気の増加が危惧される。

児童・生徒の体重増加の報告が圧倒的に多いものの、一方で中高校生は摂食障害などで体重減少が起こっていることも報告された。

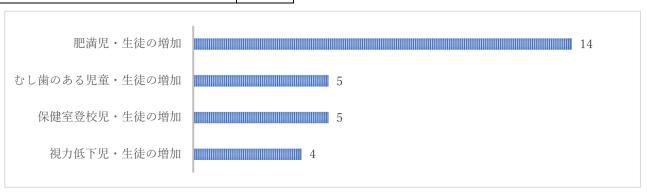
口腔内の状況の悪化も報告されている。



「新型コロナ」	学校数	
なかった	57.6%	34
あった	42.4%	25
回答		59

新型コロナ影響事例(上位 01位~3位)

肥満児・生徒の増加	14
むし歯のある児童・生徒の増加	5
保健室登校児・生徒の増加	5
視力低下児・生徒の増加	4



小学校、中学校、高校、特別支援学校別の受診状況

「歯科健診」後の状況

歯科	歯科健診を受けた児童・生徒の数														
健診にて「要医療機関受診							」と	診断さ	れた人数						
1	小学	6,751	人							〔 ii	诊断後の	対応	5状況〕		
				1	小学	2,252	人		受	診した			受診し	していな	い
2	中学	2,235	人				33.4%								
				2	中学	1,041	人	1	小学	1,264	人	1	小学	988	人
3	高校	5,801	人				46.6%				56.1%				43.9%
				3	高校	806	人	2	中学	272	人	2	中学	769	人
4	支援	492	人				13.9%				26.1%				73.9%
				4	支援	142	人	3	高校	105	人	3	高校	701	人
							28.9%				13.0%				87.0%
								4	支援	42	人	4	支援	100	人
											29.6%				70.4%

「眼科健診」後の状況

眼科	斗健診を	受けた児	童・生	E徒の	数										
				健診	诊にて	「要医療機	関受診	」と	診断され	1た人数					
1	小学	6,567	人							〔影	断後の	対応	5状況)		
				1	小学	433	人		受	診した			受診	していない	,١
2	中学	2,153	人				6.6%								
				2	中学	93	人	1	小学	194	人	1	小学	239	人
3	高校	4,268	人				4.3%				44.8%				55.2%
				3	高校	145	人	2	中学	41	人	2	中学	52	人
4	支援	500	人				3.4%				44.1%				55.9%
				4	支援	27	人	3	高校	37	人	3	高校	108	人
							5.4%				25.5%				74.5%
								4	支援	11	人	4	支援	16	人
											40.7%				59.3%

「視力検査」後の状況

視力	り検査を	受けた児	童・生	上徒の	数										
				健診	诊にて	「要医療機	関受診	」と	診断さ	れた人数					
1	小学	6,823	人							(影	诊断後の	対点	5状况〕		
				1	小学	2,383	人		芝	を診した			受診	していない	, \
2	中学	2,253	人				34.9%								
				2	中学	750	人	1	小学	1,343	人	1	小学	1,040	人
3	高校	5,426	人				33.3%				56.4%				43.6%
				3	高校	1,617	人	2	中学	322	人	2	中学	428	人
4	支援	503	人				29.8%				42.9%				57.1%
				4	支援	221	人	3	高校	346	人	3	高校	1,271	人
							43.9%				21.4%				78.6%
1								4	支援	72	人	4	支援	149	人
											32.6%				67.4%

「耳鼻科健診」後の状況

耳鼻	4科健診	を受けた	児童・	生徒	の数										
1				健診	诊にて	「要医療機	関受診	」と	診断され	れた人数					
1	小学	6,307	人							〔診	断後の	対点	5状况)		
1				1	小学	723	人		受	診した			受診	していない	۱, ۱
2	中学	1,800	人				11.5%								
1				2	中学	116	人	1	小学	389	人	1	小学	334	人
3	高校	3,013	人				6.4%				53.8%				46.2%
1				3	高校	283	人	2	中学	55	人	2	中学	61	人
4	支援	493	人				9.4%				47.4%				52.6%
1				4	支援	54	人	3	高校	37	人	3	高校	246	人
1							11.0%				13.1%				86.9%
								4	支援	20	人	4	支援	34	人
											37.0%				63.0%

「聴力検査」後の状況

	5,75 17(11)	交 0 7 1/7	, ,												
聴力	」検査を引	受けた児:	童・生	徒の	数										
1				健認	多にて	「要医療機	関受診.	」と	診断され	れた人数					
1	小学	5,289	人	1						〔診	断後の	対点	5状況〕		
1				1	小学	104	人		受	診した			受診	していなし	, \
2	中学	1,604	人	1			2.0%								
1				2	中学	9	人	1	小学	72	人	1	小学	32	人
3	高校	4,397	人	1			0.6%				69.2%				30.8%
1				3	高校	27	人	2	中学	5	人	2	中学	4	人
4	支援	365	人	1			0.6%				55.6%				44.4%
1				4	支援	12	人	3	高校	12	人	3	高校	15	人
1				1			3.3%				44.4%				55.6%
1								4	支援	9	人	4	支援	3	
											75.0%				25.0%

「内科健診」後の状況

	1 24 2 4			I /-L -	N//										
内木	斗健診を	受けた児	道・ 生	E徒の	数										
				健診	多にて	「要医療機	関受診	」と	診断され	1た人数					
1	小学	6,556	人							〔影	断後の	対応	5状況〕		
				1	小学	260	人		受	診した			受診	していなし	, ١
2	中学	2,267	人				4.0%								
				2	中学	79	人	1	小学	131	人	1	小学	129	人
3	高校	5,815	人				3.5%				50.4%				49.6%
				3	高校	147	人	2	中学	35	人	2	中学	44	人
4	支援	493	人				2.5%				44.3%				55.7%
				4	支援	16	人	3	高校	37	人	3	高校	110	人
							3.2%				25.2%				74.8%
								4	支援	10	人	4	支援	6	人
											62.5%				37.5%

ı			「口腔崩壊」の児	童・生徒がいた		いなかった
[回答が寄せる	られた		〔「口腔崩塌		
	学校数	ζ		むし歯が	未処置歯の歯が	
				10本以上ある	何本もある	
1	小学校	38校	9校	9校	0校	29校
			23.7%			76.3%
2	中学校	11校	3校	3校	0校	9校
			27.3%			75.0%
3	高校	11校	4校	4校	0校	7校
			36.4%			63.6%
4	支援学校	4校	3校	3校	0校	1校
			75.0%			25.0%

「未受診」の要因

「木文衫」の安凶	① 小学校	② 中学校	③ 高校	④ 特別支援学校
	29校が回答	10校が回答	8校が回答	3校が回答
1コロナによる受診控え	17校	6校	5校	3校
	58.6%	60.0%	62.5%	100%
2理解不足	16校	4校	6校	0校
	55.2%	40.0%	75.0%	0%
3共働き	9校	3校	2校	0校
	31.0%	30.0%	25.0%	0%
4ひとり親家庭	6校	3校	2校	0校
	20.7%	30.0%	25.0%	0%
5無関心	5校	1校	3校	1校
	17.2%	10.0%	37.5%	33.3%
6経済的困難	5校	0校	2校	2校
	17.2%	0%	25.0%	66.7%
7心身の状態が不安定	4校	1校	0校	0校
	13.8%	10.0%	0%	0%
8発達障害がある	1校	1校	0校	1校
	3.2%	10.0%	0%	33.3%
9その他	4校	3校	1校	0校
	13.8%	30.0%	12.5%	0%

「新型コロナ」影響事例について

	① 小学校	② 中学校	③ 高校	④ 特別支援学校
影響があった	13校	5校	4校	3校
	37.2%	50.0%	40.0%	75.0%
影響はなかった	22校	5校	6校	1校
が音はなりうだ	62.9%	50.0%	60.0%	25.0%
	〔影響が	あった内容〕		
1肥満児童・生徒の増加	10校	2校	1校	1校
	76.9%	40.0%	25.0%	33.3%
2虫歯のある児童・生徒の増加	2校	2校	1校	0校
	15.4%	40.0%	25.0%	0%
3保健室登校児・生徒の増加	2校	2校	1校	0校
	15.4%	40.0%	25.0%	0%
4視力低下児・生徒の増加	3校	1校	0校	0校
	23.1%	20.0%	0%	0%

歯科分野事例	
乳歯7本、永久歯4本で計11本のむし歯の児童がいました	小学校
虫歯が10本以上ある女子がほとんどです	中学校
虫歯が10本未満だが、歯科校医より、治療跡がないなどを指摘された生徒が2名いました	中学校

眼科分野事例	
10月該当児童のみ視力検査(保護者希望あり)	小学校
両親共に海外の方で、受診を拒否。メガネも作らずそのまま生活。視力両眼「C」	小学校
視力も悪くチェックもあり、保護者も心配されていました。ようやく1月に受診。	小学校
脳からか、眼からか?精密検査をしているところです。	7.子仪
受診してメガネの処方箋を出してもらったけれど、メガネを作っていない	小学校
医師からも視力低下の指摘があり、学校から保護者へ話をしたが保護者が受診を拒	小学校
否したため。保護者の不理解	7.子仪
視力低下のため眼鏡が処方されているのに使用しない。検査するときは眼鏡使用す	 小学校
るので受診はすすめないが、授業中困らないのか?	7.子仪
眼科を受診せずに、メガネっショップでメガネを調整している生徒が少なくない。	中学校
アレルギー性結膜炎の受診率が低い。	十十八
コンタクトの購入が困難 (経済的)	中学校
メガネの修理ができない (経済的)	十十八
知的障害など特性上受診し検査を受けること自体が難しいケースが多い	特別支援校

耳鼻科具体的事例	
耳鼻科の受診については他科より受診率が低くなっている。今年は水泳授業がなか	小学校
ったために、学校生活においては特に支障なし	小子仪
受診に対する拒否感が強い、過敏などがあり、日常的な耳掃除ができないなど耳鼻	特別支援校
科に関する対応はハードルが高い	付別又仮仪

その他分野事例(内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診な	: ど)
新型コロナ感染症での休業期間の影響もあるのか、不透明な部分も多いが、複数の	
原因があり、児童が学校に来られない。受診勧告するものの家庭でのアクションは	小学校
ない。	
ゲーム依存・親の育児放棄などで、小児科・精神科への受診の理解ができない 尿	中学校
糖(++)でも親が受診しないケース	中子权
・不登校生徒の未検診者の増加	
・肥満の生徒・受診しても、その後継続受診がされていない	中学校
・摂食障害による体重減少	

未受診の具体的記載	
受診しているが学校への申告のし忘れ	小学校
部活や習い事が忙しい	中学校
外国人(保護者)	中学校
育児放棄	中学校
生徒自身も健康への関心が低い	高校

新型コロナの影響事例	
給食・外食拒否	小学校
不登校になった児童がいた	小学校
口腔衛生状態の悪化、不登校傾向児童の増加	小学校
新型コロナウイルス感染症のため、学校が臨時休業になったことで、家庭で過ごす	小学校
時間が長かったこと、新年度ということも踏まえ、子どもたちの不安も募ったもの	
と考えられる。家庭において好きな時間に好きなものを食べるという習慣もついた	
かもしれない。肥満の授業で改善できた人もいました。	
保健室頻回来室の増加、健康相談の増加	中学校
摂食障害・神経性食欲不振症	中学校
不登校	中学校
長期休業により生活リズムが乱れ、精神疾患にり患した	高校

書ききれない事例	
10月う歯なしは、236人いたが、処理完了も者が減り、未処理ありが増えている	小学校
本校は1000人近くの児童数のため、1つの人数をこの時期に調べる事がとても大変	小学校
でした(公務支援システムが入り、簡単に調べられない)。今後は対象校からはず	
していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。	
本校では、受診の必要のない児童の受診数も、この数以外にいます。	
●●市は子ども医療費助成制度があり、小中学生は無料で医療が受けられます。手	小学校
続きさえすれば、お金が無いから行けないということはないと考えます。小学生は	
親が連れて行かないと受診できないので、「連れていく」ということに関わるとこ	
ろが、行けない原因になっているかもしれません。また、軽い視力低下や耳垢栓塞	
など、あまり本人や家族にとって大きな健康問題ととらえられないような場合は、	
受診に行くという動機が他より弱くなる可能性はあります。	
感染を懸念する声もあり、今年は受診者が少なかったと考えられる。来年度からは	小学校
きちんと促していきたい。	
本校は二学期までに検診を終えることができましたが、校医との日程調整が難しか	小学校
った地域もあったようです。検診方法に配慮しながら行うので、ぜひ来年度も少な	
くとも二学期までの実施をお願いします。(予防接種との関係で学校健診の日程が	
決めにくくありますが、ぜひ柔軟な対応をお願いします)	

歯科健診の結果が中学校3年間一緒もしくは、悪くなっている生徒がたくさんいます。年に2回受診の案内を出しても受診しません。親の意識を変えなければずっと	中学校
そのままです。	
コロナによる検診日が2学期になり、医療勧奨が健診後と、2学期末しかできなかっ	
た。また、家庭も受診に対して積極性を感じていなかったように思う。まずは勉強	中学校
(塾等) を優先させていた。	
本校では、健康診断を業者に委託しています。結果通知はしていますが、心電図や	
胸部エックス線以外の事後指導は積極的に行っていないため、健診後に治療を行っ	高校
ているか把握はしきれていません。	
例年、治療勧告書を渡した生徒が必ず受診したか調査していなかったので、コロナ	高校
と関連があるかわからないが、受診しない生徒が多いことに驚いた。	
感染症対策プラスコロナ休校等の影響で精神的不調の生徒が多く、養教1人で受診	高校
をきちんとしているかの把握まで手が回らない。	